

図説 寺院必携 日常知識篇

1.莊嚴

寺院建築の知識・尊像の知識・仏荘厳・堂内荘厳

2.結び方・折り方

水引・紐の結び方・紙の折り方・各種幡の作り方

3.日常作法

獻供・香・蠟燭・仏花・説相袂紗作法・食事作法

4. 梵字の知識

梵字字母表·筆法基本·塔婆書式·角塔婆·種子·真言一覽

5.法数

「梵字の知識」より

12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	番号	一一 通摩多	摩多(母音)
𑖀	𑖁	𑖂	𑖃	𑖄	𑖅	𑖆	𑖇	𑖈	𑖉	𑖊	𑖋	異体字(別体)		
𑖌	𑖍	𑖎	𑖏	𑖐	𑖑	𑖒	𑖓	𑖔	𑖕	𑖖	𑖗			
𑖘	𑖙	𑖚	𑖛	𑖜	𑖝	𑖞	𑖟	𑖠	𑖡	𑖢	𑖣	摩多点画	十二 字	
𑖤	𑖥	𑖦	𑖧	𑖨	𑖩	𑖪	𑖫	𑖬	𑖭	𑖮	𑖯			
𑖰	𑖱	𑖲	𑖳	𑖴	𑖵	𑖶	𑖷	𑖸	𑖹	𑖺	𑖻			
𑖼	𑖽	𑖾	𑖿	𑗀	𑗁	𑗂	𑗃	𑗄	𑗅	𑗆	𑗇	𑗈	漢音	
あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	さ	口表	

梵字母表

一、摩多(母音)

十二字

阿弥陀如来 (Lokēśvara-rāja)

Om ॐ नमो भगवते वासुदेवाय श्रीः
lakeśvara - rāja hrīḥ

不空成就如来 (Amogha-siddhi)

オ
ン
ア
ホ
キ
ヤ
シ
ツ
デ
イ
ア
フ
ヤ

Um	atmosfera	sidare	ai
----	-----------	--------	----

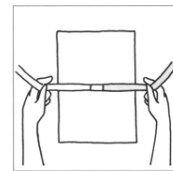
大日如来 (Vairocana)

ナウマウ
サ(ン)マ
ンダホ
タ
ナン
ア
ビ
ラ
ウン
ゲン

Namah
Samaṇṭa
— Buddhānām
a vi
ra hūṃ
kham .

胎藏界五仏

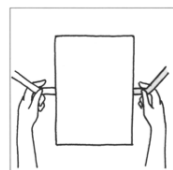
「結び方・折り方」より



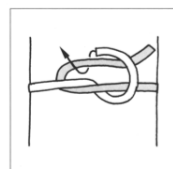
①水引を結ぶ前には、どんな結び方でも品物の包みの幅に合わせて、折り目をつける。



赤白の場合
③白は下、赤は上。白
らせて、中央に結び目

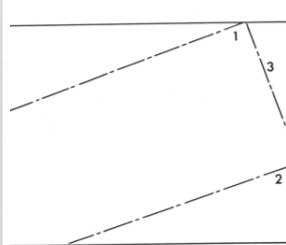


ま結び
 ほん結びともいい、慶弔いずれにも用
 いる。結び方は「ま結び」にして端を
 結び切りにするのが基本形であり、こ
 れでこした飾り結びは儀式のものでは
 ない。公式の儀式でも用いられ、水引
 の結びはこれをひとつ覚えておけばよ
 いといっても過言ではない。

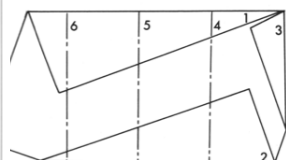


④白は左、赤は右

「法数」より



①1と3が直角となるように紙幣形のボール紙を置く。



・5・6・7
みをほどき、
間に紙幣をは
3と包み直す

3	表
---	---



⑦手前から向こう側にあげ、縁に沿って45度回し、露をきってから手許に引く。



⑧右手を添えて持ちなおし、いったん手許に引き寄せる。



⑨左手で持ちなおして下におろす

とする四社と、後に勧請された西本宮から三社を併せて山王七社といひ、これより上七社といひ、下に主な損末社を中・下七社に列して、山王三十一社となつた。

七應（ちちあへく）

身三・口四の不善
七因明（しちいんみん）

論性明・論処所・論所依・論莊嚴・論因資・論出離・論多所作法
七有（しちいう）

地獄における主存・畜

住
四善根・煖法、頂法、忍法、世第一法
七施羅 (しちこんま)
阿耨・擯出・依止・不至白家・不見攀・不憒攀・惡見不捨攀
七財 (しちざい)
信財・戒財・慚財・愧財・聞財・捨財・慧財
七聚 (しちしゆ)
比丘・比丘尼・優婆塞・優婆夷・沙

七種大義（しちしゆだいぎ）
經大・行大・智大・勤大・巧大・卑大・事大
七種無常（しちしゆむじょう）
作捨無常・處壞無常・即心無常・變無常・性無常・性無性無常・不生無常
七種礼法（しちしゆらいほう）
我禮・求名礼・身心恭敬礼・發願清淨礼・遍入法界礼・正觀修証礼

「食事作法」より